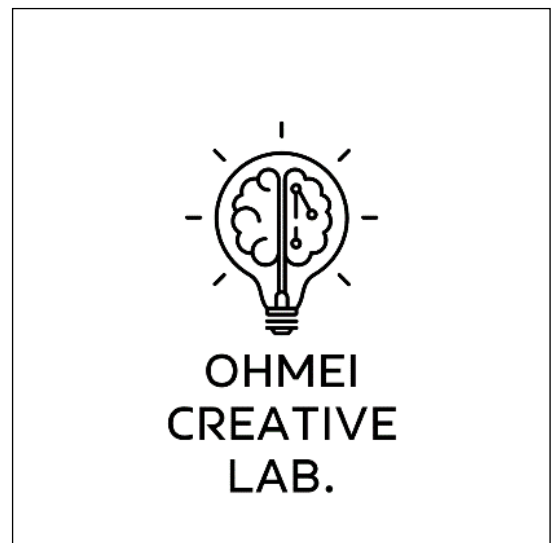


R5「嚶鳴クリエイティブ・ラボ(OCL)」スタート

「総合的な探究の時間」及び「理数探究」がスタートしました。今年度から、これらの探究活動を「嚶鳴クリエイティブ・ラボ(OCL)」という愛称で呼ぶこととしました。クリエイティブ」は独創性や創造力を意味し、デザイン思考を通じて現実的な問題解決に取り組むことを目指していることを示しています。また、「ラボ」は実験室や研究所を意味し、共同で学び、研究し、創造する場を示唆しています。教師と生徒、生徒同士が協力し合い、相互に理解・協力・信頼し合って成長する「嚶鳴精神」を体現しています。愛称に加えてロゴマークも紹介しますのでご覧ください。



さて、4月13日(木)7時間目に今年度最初の授業がありました。1年次は、3年間でのどのように探究活動を進め深めていくか、そして特にこの1年間の活動内容の説明がありました。2年時文型は、1年間のゼミ活動の内容とゼミ担当教員の紹介、そして1年次の3学期から進めてきた準備をもとに今年度のテーマの検討を行いました。理型については、今年度新しくスタートする「理数探究」について、その目的や目標、年間計画の説明がありました。3年次は、これから始まる論文作成に向け東北芸術工科大学芸術学部文芸学科准教授のトミヤマユキコ先生をお招きし「高校生の論文の書き方作法」と題した講話をいただきました。“論文は科学的(=情報の正確性と内容の再現性)であること”や“直接引用と間接引用”の具体例を挙げていただき論文を構成する際に引用の使い方が大切になることを教えていただきました。

これから、それぞれの年次で年間計画に沿って本格的な活動が始まります。その活動の様子は、随時 HP でお知らせいたしますので楽しみにお待ち下さい。今回は、東北芸術工科大学教授の柚木泰彦先生をお招きした1年次生対象のデザイン思考演習(=探究の基礎を学ぶ)の様子をお伝えする予定です。